

移動市長室

筑紫保護区保護司会筑紫野支部

— 青少年の再犯防止について —

通算68回目となる移動市長室を、5月17日(水)に開催しました。筑紫保護区保護司会筑紫野支部と懇談を行い、14人の出席がありました。

● 問い合わせ先 秘書広報課



保護司は、人の立ち直りを助ける

保護司は、保護司法に基づき法務大臣から委嘱された更生保護のボランティアで、犯罪や非行をした人の立ち直りを助けるとともに、地域の安全・安心のため犯罪予防の啓発活動などに取り組んでいます。

筑紫野支部とは、平成25年4月に移動市長室を実施し、保護司の役割や仕事内容をはじめとした日々の活動や更生保護に向けての取り組みについての意見交換を行いました。

犯罪や非行のない地域を作るために

今回の懇談では、平成28年度の活動内容や「社会を明るくする運動」推進大会を中心に報告を受け、交流を深めました。

「社会を明るくする運動」は、犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラをコンセプトに毎年7月を強調月間として全国的に展開されています。筑紫野支部の取り組みとしては、街頭啓発活動を行ってきましたが、平成26年から推進大会を開催しています。推進大会の開催にあたっては、犯罪防止と立ち直り支援の課題について話し合っテーマを設定し講師を招いていること、これまでに薬物防止、性



の多様性、性犯罪についての講演を行ったこと、司会進行や受付・出迎えなどに市内五中学校の生徒会や放送部が協力していること、その取り組みが評価され昨年福岡県知事からの感謝状が授与されたこと、犯罪や非行のない地域をつくるためにそれぞれの立場で関わっていくことを考える大切な機会としてこれからも取り組んでいきたいという説明がありました。

義務教育後の青少年の支援を

未成年の更生保護の現状としては、犯罪件数は減少傾向にあるものの再犯率が高く、義務教育を終えた子どもたちの支援をどのように行っていくかということが喫緊の課題と受け止めているという報告を受け、青少年の再犯防止について、それぞれの体験談から悩みや学んだことなどを話してもらいました。

さらに、推進大会による啓発活動を



より盛り上げていくことや再犯防止の社会的支援のために協力雇用主を少しでも増やすことへの協力依頼など、意見交換を行い、議論を深めることができました。

懇談の中での提案や意見は、可能なものについては実施に向けて検討を進めるとともに、今後の市政に生かしていきます。

参加者からの感想

- ・ 私たちの活動について、市長にご理解いただけてありがたく思っています。今回、他の保護司のお話を聞けて悩みを共有できたことも良かったです。
- ・ 私たち自身もなかなか活動の話をする場面がなく、同じような苦勞をしているんだなと感じることができました。

藤田市長の一言

保護司の皆様と2回目の移動市長室を開催させていただきましたが、印象的なこと、また、教えていただいたことがたくさんありました。皆様方が自分の時間を割いて青少年を含め犯罪を犯した人の話を聞きながら、更生の道を歩ませていらっしゃるという貴重なお話であり、さらにそのことがひいては自分自身もつくられていく、磨かれていくというお話

に、大変感銘を受けました。本日のお話をしっかりと受け止めさせていただきながら、行政としての取り組みを進めてまいりたいと思います。

筑紫保護区保護司会筑紫野支部の皆様、誠にありがとうございました。



社会を明るくする運動推進大会

筑紫保護区保護司会筑紫野支部では、市内の中学生など多くの皆さんの協力を得ながら「社会を明るくする運動推進大会」を実施しています。

(入場無料・参加申込不要)

- 日時 7月15日(土)、13時30分開会
- 場所 生涯学習センター2階さんあいホール
- 講演

「子どもたちの居場所づくりに関わって

～元総長のふれ愛義塾」

- 講師 工藤 良さん(NPO法人TFG田川ふれ愛義塾理事長)
- オープニング演奏 “走れメロス～筑前琵琶と語り芝居の世界”
- 出演 寺田 蝶美、岩城 朋子
- 問い合わせ先 生活福祉課 地域福祉担当